

自然保育活動 活動報告書

学校法人藤本学園 河戸こども園

活動について

- ・年間を通して 2 か所の畑で野菜を栽培し、収穫した野菜を月に 1 度設定している白ご飯の日に園内で調理して喫食しました。
- ・隣接の寺の境内・2 か所の畑を自然フィールドとして活動しており、樹木につく虫やフィールド内に生息している生き物の観察、落ち葉や花を使っての製作や遊びを体験しました。

環境構成について

- ・近隣の方のご厚意で休耕地を借りて施肥を行い、年間を通じて畑作りを行いました。
- ・畑周りの草地での活動のために、子供たちの背丈を超える草を刈り、石積みや用水路の安全確認を行いました。
- ・稲づくりのためのプランターを準備し、園庭の隅に設置しました。

印象的だった事例について



毎年、季節の野菜を育てています。

今年度初めての収穫は昨年度に植えた玉ねぎでした。

子どもたちが思っていた以上にぬるぬるして力が要り、どうやって抜くかいろいろ試しながら収穫しました。



毎年、園庭で稲づくりに挑戦しています。今年も土づくりからスタートしましたが、年中・年長は手慣れたものでした。初めて代掻きを体験する子ども達は、遠慮がちに表面だけ混ぜていましたが、保育者からの声掛けに、次第に大胆になり、最後は遊び着や顔も泥だらけでした。

秋、稲刈りも全クラスで少しずつ体験しました。

天日干しをして、割りばしでしごいて脱穀し、すり鉢とボールで糲摺りをした結果、今年も3合ほどの収穫がありました。1口ずつですが自分たちの育てた白米を味わいました。



3月に植えたジャガイモを6月に収穫し、白ご飯の日やお泊り保育で使いました。貯蔵できない小さな芋は、年長が月刊誌で見たフライドポテトを「作って食べてみたい！」と…実践。こぼれる笑顔がおいしさと楽しさを物語っています。





今年もサツマイモが沢山採れました。
お日様にしばらく干してお芋パーティーで秋の味覚を満喫しました。
自分たちで育てた野菜の味は格別らしく、園の野菜がたっぷり入った芋汁・ふかし芋・お芋ケーキのお芋パーティーメニューは大好評でした。
小さくて食べられない芋はスタンプにして遊びました。



年間を通しての活動で子供たちは沢山の発見をし、驚きや不思議と出会いました。
いろいろな草花や虫の名前・子葉と本葉の形の違いやカタツムリは雨上がり以外どこにいるのか等々。先生たちに聞いたり、図鑑で調べたり、納得できたこともありましたが、教えてもらっても何となく不思議なままのこともあったようです。
それでもみんなで話して・考えて・実際にやってみることは、子ども達の好奇心を日々育てています。